

アメリカにおける文化の多様性と公共図書館コレクション —資料収集方針に着目して—

新井 優子

アメリカは、19世紀から現在に至るまで大量の移民を受け入れており、人種や言語、宗教など異なる文化を持つ人々が同じ地域で暮らしている。またアメリカでは、ボストン公共図書館が近代的な公共図書館として初めて設立されて以来、公共図書館が大きく発展し、地域に根づいた活動をしている。コミュニティの住民が必要とする情報を得るため、人々やコミュニティに多様性があるのと同様に、地域にある身近な存在の公共図書館にも多様性が求められ、このような多様性はコレクションに反映されている。そこで、本研究ではアメリカの図書館の資料収集方針を一つの視点として、多様性のある地域の中で文化を継承・存続させていくうえで、公共図書館が果たす役割を明らかにする。本研究では文化的多様性という用語を広く定義し、利用者の多様性に加えて、地域の多様性も文化的多様性としてとらえることとする。

本研究では、*Library Journal* によるアメリカ公共図書館ランキングの *Star Libraries* に選定された図書館の資料収集方針を調査対象とする。文献調査とウェブサイト調査を通して、*Star Libraries* 図書館の資料収集方針の有無や分量、構造を把握した。次いで、資料収集方針の内容を詳細に検討し、文化的多様性とコレクションの関係を明らかにした。また、図書館にメールインタビューの調査を行うことで、特別コレクションと文化的多様性の関係について把握した。

調査の結果、アメリカ公共図書館の資料収集方針の現状と文化的多様性について部分的に明らかにすることができた。図書館界を国際的に先導するアメリカ公共図書館であるが、資料収集方針についてみれば必ずしもすべての図書館が充実した方針を作り公開しているわけではない。また本研究を通して図書館ごとに文化的多様性に配慮して資料を収集していることが明らかになったものの、本研究の対象とした資料収集方針には文化的多様性と地域との関係性に言及した具体的な記述を見出すことはできなかった。

図書館が利用者のニーズを満たすために、具体的なコミュニティの文化的多様性を記述した資料収集方針を整備し、公開していく必要がある。そして、コミュニティのニーズを満たすコレクションを構築し続けることが、多様性のある地域の中で文化を継承・存続させていくための公共図書館が果たす役割であると結論付けた。

本研究では、アメリカ公共図書館の中でも一部の図書館の資料収集方針に関する概略的な調査にとどまっている。今後は、資料収集方針の実態をさらに把握するため、調査する図書館数を増やし、アメリカ公共図書館の資料収集方針のより詳しい内容分析を行っていくことが望まれる。

(指導教員 吉田右子)